令和４年司法試験の合格体験記

１．プロフィール

氏名（イニシャルでも可）

　〇〇大学〇〇学部　卒業

　〇〇大学法科大学院（既修・未修）　卒業（又は在学）

　令和４年司法試験　合格

※1．学校名までは必須ではありません。また、入学・卒業の年度の記入も任意です。

２．受講講座

　・基本7科目の総まくり講座

・基本7科目の司法試験過去問講座

・基本7科目の司法試験対策パック

・基本7科目の司法試験・予備試験対策パック

・基本7科目の司法試験・予備試験・労働法完全パック

・労働法速修テキスト講座

・労働法重要問題100選講座

・労働法過去問講座

・労働法攻略パックAプラン

・労働法攻略パックBプラン

・労働法攻略パックCプラン

・労働法完全パック

３．成績

総合　○○点　〇〇位

論文　〇〇点　〇〇位

　　公法系　　〇〇点（A～E）

民事系　　〇〇点（A～E）

刑事系　　〇〇点（A～E）

　　選択科目　〇〇点

※2．労働法講座の合格体験記では、労働法の成績の記入は必須となります。

※3．基本7科目の司法試験講座の合格体験記では、少なくとも論文の総合順位について「20番台」「500番台」「1200番台」くらいの具体性をもって記入して頂く必要がございます。

４．講座を選択した経緯・理由

４～７について、合計1500～2500文字くらいで記入して頂きたいと思います。

なお、４～７は記載内容に関する参考にすぎませんので、必要に応じて項目を修正・追加して頂いて構いません。

５．講座・教材の使い方

講座・教材の使い方について、具体的に記入して下さい。

　　教材の使い方を具体的に示すために、教材の写真を提出して頂けると有難いです。

６．講座・教材が令和４年司法試験にどのように役立ったか

令和４年司法試験の出題内容と講座・教材の内容の関連性なども踏まえて、講座・教材が令和４年司法試験にどのように役立ったかについて、記入して下さい。

なお、下記の例１～３は記載内容の例にすぎませんので、皆さんが「ここを紹介したい」と思うことについて自由に書いて頂ければと思います。

　例１：出題内容との関連性について

・刑事訴訟法では、①規制薬物事犯を対象としたおとり捜査、②放火の方法に関する訴因変更の要否、③検察官の釈明内容と異なる事実認定が出題され、いずれの論点も総まくりテキストでAランク論点に位置付けた上で過去問や参考判例を使った答案例や論述例まで紹介されていたため、周りに差をつけることができた

例２：方法論について

・全科目共通の方法論（書き方、読み方、考え方）が役に立った

・科目分野ごとの方法論（書き方、読み方、考え方）が役に立った

　例３：教材について

　　　・テキスト・論証集には新しい判例の理解や受験界通説、試験傾向に合った理解が反映されているため、知識をブラッシュアップするために有益だった

　　　・テキスト・論証集にはランク付けがあるとともに、マーク指示もあるため、直前期に適切なメリハリ付けをしながら総復習をすることができた

　　　・労働法速修テキストには試験との関係で必要なことが凝縮されているため、労働法をいちから勉強してテキスト一冊だけでインプットを完成させることができた

　　　・講師がいちから教材を作成しているため、内容面について信頼できた

７．これから司法試験・予備試験を受験する方々へ

　　これから司法試験・予備試験を受験する方々に向けたメッセージを記入して頂ければと思います。